

認定 HLA 検査技術者認定制度 平成 17 年度・認定 HLA 検査技術者講習会の御案内

組織適合性技術者認定制度委員会
委員長 佐田 正晴
組織適合性技術者認定制度委員会教育部会
部会長 西村 泰治

日 時: 平成 17 年 10 月 2 日(日曜日) 17:30~19:30 (時刻が変更されました!!)
場 所: 熊本市市民会館(熊本市桜町 1-3, 電話: 096-355-5235) 大会議室
参加費: 2,000 円(テキスト代を含む) 事前に参加費を振込んでおられる方には、受付にて出席確認を済ませてから御入場ください。当日参加も可能ですが、講習会資料の数に限りがありますので御了承ください。
内 容: 各講習とも質疑応答を含めて、30 分を予定しています。なお講習のタイトルは、今後、若干変更される可能性があります。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) HLA タイピングの基礎 | 田中 秀則(東京都赤十字血液センター) |
| (2) HLA 遺伝子多型の特徴と意義 | 大橋 順 (東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野) |
| (3) 免疫系における HLA の役割 | 平山 謙二(長崎大学熱研・疾病生態分野) |
| (4) 臓器移植と HLA; 特に心臓移植において | 福寫 教偉(大阪大学大学院医学系研究科・臓器制御外科学) |

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする方を対象に実施されますが、それ以外の方であっても自由に参加することができます。なおすでにメキりを過ぎておりますが、受講希望者には、以下の申込書に必要事項を記入し、熊本大学大学院医学薬学研究部・免疫識別学分野宛に FAX (096-373-5314) で送付してください。あるいは、E メールで件名を「HLA 講習会」とし、申込書の必要事項を書き込んで「midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp」宛に送信してください。なお参加費は平成 17 年 9 月 9 日(金)までに、指定の郵便振替口座(口座番号: 00160-7-482142, 口座名称: 組織適合性技術者認定制度委員会)に振込んでください。振替用紙の通信欄に、受講(予定)者の所属、氏名とともに、「平成 17 年度認定 HLA 検査技術者講習会受講料」と記載してください。9 月 9 日(金)までに参加費を振込まれた方には、事前に講習会資料を送付させていただきます。なお受講申し込みをされ参加費を振り込まれた方で、当日欠席された方には返金できませんことを御了承ください。また、テキストの印刷部数は事前申込者数に応じて決定され、事前申込者に優先してテキストを配布します。このため当日の申込者が多い場合には、当該者にはテキストを配布できない場合がありますことを、あらかじめ御了承ください。なお講習会資料は、講習会の 1~2 ヶ月後に学会ホームページに掲載される予定です。

平成 17 年度認定 HLA 検査技術者講習会 受講申込書

(書き込み可能な申込書を、学会ホームページの「認定制度」関連サイトからダウンロード
できますので、そちらも御利用ください。)

FAX 送信先: 096-373-5314, E メール送信先: midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp

氏 名:

所 属:

住 所: 〒

電 話 番 号:

FAX 番 号:

E メールアドレス:

HLA 検査技術者認定取得予定 なし あり → 平成 年度を予定

認定組織適合性指導者認定制度
平成 17 年度・認定組織適合性指導者講習会の御案内

組織適合性技術者認定制度委員会
委員長 佐田 正晴
組織適合性技術者認定制度委員会教育部会
部会長 西村 泰治

平成 17 年 10 月 3 日, 4 日に開催されます, 第 14 回日本組織適合性学会大会中の下記の特別講演 2 題, 教育講演 1 題, およびシンポジウム 2 題の合計 5 題のうちから 3 題以上の聴講をもって, 指導者認定あるいは認定更新に必要な講習を受講したものと認めます。なお, 会場の入り口付近に準備いたします, 受講者記帳名簿へのサインをもって受講証明といたしますので, お忘れなく御記帳ください。

10 月 3 日(月) 第 1 日目

11 時~12 時 特別講演 (1)

- James McCluskey (Professor, Department of Microbiology and Immunology, Melbourne University)

“Impact of natural HLA class I polymorphism on antigen presentation:
The power of one in HLA function and transplantation matching”

14 時~ シンポジウム (1) 「臨床免疫学の Cutting Edge」

- 15 時 30 分 ○ 豊嶋 崇徳(九州大学病院 遺伝子・細胞療法部)
『同種移植と免疫寛容』
- 滝口 雅文(熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野)
『HIV-1 の細胞傷害性 T 細胞からの逃避機構』
- 河上 裕 (慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 細胞情報研究部門)
『T 細胞応答を利用した癌の免疫制御—現状と課題—』

10 月 4 日(火) 第 2 日目

11 時 30 分~ 特別講演 (2) 「ABO, HLA, そして全ゲノム—HLA への再挑戦—」

- 12 時 30 分 ○ 笹月 健彦(国立国際医療センター)

13 時 30 分~ 教育講演 「免疫療法としての同種造血幹細胞移植: 現状と問題点」

- 14 時 15 分 ○ 中尾 眞二(金沢大学大学院医学系研究科 細胞移植学講座)

14 時 15 分~ シンポジウム (2) 「臓器移植と組織適合性の最前線」

- 15 時 45 分 ○ 村田 誠 (名古屋大学医学部附属病院 血液内科)
『造血幹細胞移植とマイナー組織適合性抗原』
- 池亀 和博(大阪大学大学院医学系研究科 血液腫瘍内科学講座)
『HLA 半合致(ハプロアイデンティカル)造血幹細胞移植』
- 杉谷 篤 (九州大学病院 腎疾患治療部 臨床腫瘍外科)
『腎移植, 膵移植における組織適合性検査の意義』